

県民生活・土木交通常任委員会 県内行政調査

1 調査日 平成 29 年 2 月 8 日（水）

2 調査の概要

(1) 大津市若葉台急傾斜地崩壊対策事業現場（大津市若葉台地先）

調査事項 「工事の概要および進捗状況等について（若葉台 1 地区工事現場）」

(2) 金勝川補助通常砂防事業現場等（栗東市観音寺地先）

調査事項 「砂防長寿命化計画事業における対策必要箇所現状について」

「工事の概要等について（金勝川補助通常砂防工事現場）」

「ドローンの概要とデモ飛行について」

近年、異常豪雨の頻度が高まり、土砂災害が後を絶たない状況であるが、本県においても、平成 24 年 8 月の大津南部の豪雨や平成 25 年 9 月の台風 18 号の発生に伴うがけ崩れや土石流によって、人命、住宅被害等が多数発生している状況である。

そのような中で、ハードとソフト両面の総合的な推進が必要とされているが、現在、県内における 4,910 箇所の土砂災害危険箇所のうち、平成 27 年度末の整備率は約 21% の状況であり、今後、その整備を推進していく必要があるとともに、県内の 5,000 箇所以上の砂防関係施設の維持管理等にかかる長寿命化計画の策定とその確実な遂行が必要とされている。

こうしたことから、まず、上記（1）として、大津市若葉台急傾斜地崩壊対策事業現場への視察を行い、若葉台 1 地区急傾斜地崩壊対策工事の概要および進捗状況等についての調査を行った。



次に、上記（２）として、金勝川補助通常砂防事業現場等への視察を行い、現在策定中の砂防長寿命化計画事業において今後対策が必要とされる箇所について、ならびに金勝川補助通常砂防事業工事の概要等についての調査を行った。

また、併せて、本県の土木交通部において近年導入されたドローンについては、災害時における速やかな状況把握や情報提供、インフラの日常管理等に活用されていることから、デモ飛行により、その概要の調査を行った。

